

こんせき

痕跡であるクレーターが、メキシコのユカタン半島で見つかっている。

ほかの時代の大量絶滅については、その原因についてまだ詳しくわかっていないが、急激な寒冷化や温暖化などさまざまな原因が議論されている。

- 5 ●大量絶滅と生物進化● いったん大量絶滅が起きると、その後、古い型の生物が元のように復活することはなかった。それにかわって、生き残った種類からは新しい型の生物が次々と生まれ、多様化していった。中生代に栄えたアンモナイトや恐竜も、その祖先はすでに古生代に現れていたが、急激に多様性を増やしたのは古生代ペルム紀末の大量絶滅の直後であった。新生代に急速に大型化・多様化した哺乳類も、出現したのは三畳紀であり、同様の歴史をもつ。先カンブリア時代にも、何度も大量絶滅が起こったと考えられている。

- 地質時代の区分は、このような突発的な地球環境の変化による絶滅と、それに続く新しい生物の進化に基づいている(図29)。地球での生命の進化は、
15 このような大量絶滅の結果の積み重ねである。人類も、そうしたたび重なる環境の変化と、その後に起きた進化の結果現れた生物の1つである。

▶ 図29 生物の種類数の変化 過去に、生物の種類数が激減した時期が少なくとも5回あった。図の縦軸の科は生物分類の単位の1つ(生物は界・門・綱・目・科・属・種の順に細分される)。

